

実務に関する証明書

法附則第18項により栄養教諭の免許を申請する場合、施行規則附則第6の表備考第4号の適用を受ける場合にあっては、非常勤講師としての経験年数を記載すること。

氏名 信濃 花子

「常勤」「非常勤」の別については必ず記入すること。

昭和 50年 8月 31日生

年度	在職学校名	在職期間	職名	職務内容	担任教科	常勤、非常勤の別	備考
21年度	〇〇市立 △△中学校	21年12月1日から 22年2月28日まで	講師	1学年担当	国語	非常勤	
22年度	同上	22年4月1日から 23年3月24日まで	講師	2学年担当	国語 社会	常勤	
23年度	〇〇市立 ◇◇小学校	23年4月1日から 24年3月31日まで	教諭	5学年担任		常勤	
24年度	同上	24年4月1日から 25年3月31日まで	教諭	6学年担任		常勤	H24.5.1 ~ H24.9.30 療養休暇
25年度	〇〇市立 □□養護学校 (中学部)	25年4月1日から 26年3月31日まで	教諭	1学年担任	国語 社会 数学	常勤	
26年度	〇〇市立 ◎◎小学校	26年4月1日から 27年3月31日まで	栄養士	学校栄養職員		常勤	
26年度	同上	26年4月1日から 27年3月31日まで	特別 非常勤 講師	栄養指導等	栄養	非常勤	

上記のとおり良好な成績で勤務したことを証明します。

平成 27年 5月 30日

最終行の終了日より前の日付になっていないか注意してください。

育児休暇、療養休暇、産前産後休暇、介護休暇など、実際に勤務していない期間がある場合は記入してください。

実務証明責任者

〇〇市教育委員会

印

(備考) 1 年度ごとに1行ずつ記載すること。

例 4月1日から翌年の3月31日までの1年(年度の途中で新任又は転退職している場合はその期間)について1行に記載すること。

2 在職学校が特別支援学校の場合、在職学校名欄には、担任した小学部、中学部、高等部の別を併せて記載すること。

3 備考欄には、実際に勤務しなかった期間及びその事由(兵役、長期の療養休暇等)を記載すること。

記載注意

1 備考3の長期療養休暇等には、育児休業、休職等の期間も含まれるので、その期間も記入すること。

2 大学附置の国立又は公立の学校の教員にあってはその大学の学長、市町村立の学校の教員にあってはその市町村の教育委員会、県内の県立の教員にあってはその学校の校長、県外の都道府県立学校の教員(市町村立学校の県費負担教員を含む。)にあってはその都道府県の教育委員会、私立学校の教員にあっては学校法人の理事長の証明を受けること。